

THE 26TH SASSOON SCHOOLSHIP STUDENT HAIR CUT CONTEST
第26回サsoonヘアカットコンテスト
国際文化理容美容専門学校 V18

祝 全国優勝

渋谷校 坂本 和弥さん

(長野県私立佐久長聖高等学校卒業)

全26大会中18大会で国際文化生が優勝!!
1~5位独占!! 6位に5名入賞 渋谷校v10達成



2025/09/02

@ 立川ステージガーデン

全国優勝
坂本和弥さんの作品



2位

萱場 凧さんの作品



3位

山本 玲華さんの作品



4位

藤本 菜々さんの作品



5位

文字山 葉帆さんの作品

「サsoonスクールシップ スチューデントヘアカットコンテスト」とは全国の理美容学校（メンバーシップ校）の学生を対象に、1999年より開催されている大規模なカットコンテストです。今年は、各校予選を勝ち抜いた150名が、全国決勝の舞台上で技術を競いました。審査は、マークヘイズ氏を審査委員長とするサsoonアカデミーチームにより厳正に行われ、渋谷校の坂本和弥さんが見事、全国優勝を果たしました。また当日は「第13回サsoonスクールシップ スタイリストヘアカットコンテスト」も同時開催され、国分寺校卒業生の南部圭佑さんが優勝しています。

全26大会 歴代優勝校（★は本学が優勝）

- 1999 ★第1回 渋谷校 加藤純一
- 2000 第2回 高津理容美容専門学校
- 2001 ★第3回 国分寺校 前田祐子
- 2002 ★第4回 国分寺校 遠藤祐治
- 2003 第5回 関西美容専門学校
- 2004 ★第6回 国分寺校 佐藤かおり
- 2005 ★第7回 渋谷校 佐藤奈穂美
- 2006 ★第8回 国分寺校 鈴木由加
- 2007 第9回 茨城理容美容専門学校
- 2008 ★第10回 渋谷校 大竹茉莉絵
- 2009 ★第11回 渋谷校 櫻井麻美
- 2010 第12回 大村美容ファッション専門学校
- 2011 ★第13回 渋谷校 山入端志織
- 2012 ★第14回 国分寺校 糸川一真
- 2013 ★第15回 渋谷校 伊藤泰平
- 2014 第16回 大村美容ファッション専門学校
- 2015 第17回 名古屋美容専門学校
- 2016 ★第18回 渋谷校 山崎智子
- 2017 ★第19回 渋谷校 田中美里
- 2018 ★第20回 国分寺校 白山綾夏
- 2019 第21回 ヴェールルーージュ美容専門学校
- 2022 ★第23回 国分寺校 杉本花菜
- 2023 ★第24回 渋谷校 小菅凜
- 2024 ★第25回 国分寺校 竹村薫茄
- 2025 ★第26回 渋谷校 坂本和弥

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で2020年・第22回大会は開催中止。2021年は未開催。



1 会場の立川ステージガーデン 2 競技スタート!! 2グループに分かれて競技が行われた 3 スタイリスト部門で優勝した南部圭佑さん(Avantgarde)は国分寺校の卒業生 4 サsoonアカデミーチームによるテクニカルヘアセミナーやメンバーシップ校、サロンシップの先生方によるデモンstrーションが行われた 5 優勝した坂本和弥さんの表彰に続いて優勝者表彰があり、本学・金首敬文渋谷校副校長に賞状とティファニー社のクリスタルが贈られた

全国優勝を筆頭に上位独占。さらに6位9名中に5名が入賞し、国際文化生の技術の高さを証明しました!!

全国優勝



坂本 和弥さん 渋谷校美容科2年/長野県私立佐久長聖高等学校卒業
★モデル 柴田 ひなのさん 渋谷校美容科1年/神奈川県立横浜清陵高等学校卒業

日本が大好き!! イギリス・ロンドン発のサスーンカットといっても、日本の会場で日本人を対象に開催されるカットコンテストなのだから、来日されるサスーンアカデミーの先生方に「日本のサスーン」を見せたいという思いで挑みました。衣装は日本の伝統衣装である着物にリメイクしたもの、ヘアスタイルには平安時代の貴族女性の髪型に由来するといわれる「姫カット」を取り入れました。校内決勝ではこのスタイルで1位通過することができましたが、校内決勝の時に審査して下さった石井曜子先生以外の先生方が、僕の作品をどう評価するかわからない。その不安はありました。国際文化に入学してサスーンカットをベースにしたカット技術を学び、ひと月30人を目標にモデルカットを続けてきたので人頭には慣れていたし、他の人よりハサミに触れる回数は多く、技術も身につけているという自信はありました。しかし本番では、ヘアアイロンの温度設定やバックのカットをミスするなど反省点も多く、完璧とはいえない仕上がりがだったので、自分の名前が呼ばれるまではドキドキでした。優勝できて本当に良かったです。学ぶほど魅了され、世界最高峰のカット理論&技術だと確信したサスーンカットを、本場イギリス・ロンドンのサスーンアカデミーで学べる。3月の研修旅行が待ち遠しいです。



全国優勝おめでとう



2位入賞 萱場 凧さん
渋谷校美容科2年/千葉県立柏の葉高等学校卒業
★モデル 田中 真生さん
渋谷校美容科2年/埼玉県立越谷高等学校卒業

モデルの真生さんは3月から半年間ずっと練習に付き合ってくれて、個性的な斜めのバングも「いいよ」って言うってくれて、その上、髪が伸びるのがすごく早くて...この結果は多分にモデルさんのお陰だと思っています。本番は緊張しすぎてブッキングが取れない、手が震えて上手くカットできない、頭の中も真っ白な状態で、とても入賞を期待できる出来ではありませんでした。諦めていたら思いがけず名前が呼ばれ、表彰式では本番以上に興奮が止まりませんでした。副賞のサスーンアカデミーでの研修のチャンスを無駄にしないためにも、もっとカットが上手になりたいです。



3位入賞 山本 玲華さん
国分寺校美容科2年/高知県高知市立高知商業高等学校卒業
★モデル 熊谷 衣織さん

6位入賞できればいいなと思っていましたが呼ばれず諦めていたところ、3位で名前が呼ばれびっくり、信じられませんでした。モデルさんがギリギリに決まったので、モデルさんでの練習は3回くらいしかできなかったのですが、髪質が良く、クセも少なかったのも助かりました。ヘアスタイルは左右シンメトリーのワンレンクス。本番では水平にカットするところを少し前上がりになりカットしてしまうなど、シンプルなスタイルだからこそ難しさはありました。このサスーンカットコンテストを通して、継続して練習することで技術が向上することを身にしみて感じました。



4位入賞 藤本 菜々さん
渋谷校美容科2年/東京都立豊多摩高等学校卒業
★モデル 和田 歩歩さん
渋谷校美容科2年/大妻女子大学卒業

サスーンと理美容甲子園の両立は思った以上に大変でした。開催日も連日、種目はカットとワインディングで異なる技術。さらに夏休みには就職内定先の研修やバイトも重なり、自分でもよく乗り切ったと思えるほど大忙しでした。でもどれも疎かにしなくなかった。どこまでできるか、やり切れるか、他者ではなく自分自身との闘いでした。デザインはカラーを入れない黒色のワンレンクス。シンプルだからこそ難しい点も多く、左右対称や水平を保つために、立った状態でカットして、アゴの角度をずっとキープし続けてもらうなど、モデルさんにも大きな負担をかけました。



5位入賞 文字山 菜帆さん
国分寺校美容科2年/埼玉県立飯能高等学校卒業
★モデル 中野 潤風さん
国分寺校美容科1年/埼玉県立所沢高等学校卒業

ヘアカットはあまり得意な方ではありませんでしたが、カットやブローの技術を高めたいと思い、出場を決めました。サスーンカットコンテストという目標を設定して練習することで、技術は向上し、人間関係も広がりました。同じ目標に向かって頑張る仲間、私のことを信じて任せてくれるモデルさん、一人ではなく皆との練習は楽しく、とても有意義な時間を過ごすことができました。本番ではブローは上手くいきましたが、カットには甘さが残りました。反省点はいくつかありますが、この経験を通して多くのことを得ることができました。



6位入賞 川島 彩葉さん
渋谷校美容科2年/神奈川県立日本大学高等学校卒業
★モデル 岡本 ひなたさん

5月の校内決勝では毛先がまとまらず悔いが残ったので、ブロー技術を磨くなど、毎朝の練習でひとつずつ課題を克服していきました。全国大会では光が当たるとツヤになって見える「シャイニングポイント」にブリーチを施して、毛流れがより美しく映えるようにこだわりました。私の作品を見て審査員が「シャイニング!」と評価しているのが聞こえて私もモデルさんもニヤリ。表彰式では6位が次々と呼ばれ、その全員がとても上手だったので諦めかけたとき、6位の最後に呼ばれてびっくり。でも、皆にたくさん応援してもらったので、もう少し上を目指したかったな。



6位入賞 鈴木 蛍さん
国分寺校美容科2年/愛媛県立新居浜高等学校卒業
★モデル 宮崎 未歩さん

去年はモデルとしてサスーンに参加し、先輩がとても努力をしている姿を見てきました。しかし入賞は叶わず、悔しい思いをしました。そのリベンジもあり出場を決意。全国優勝を目指し練習を重ねてきましたが、校内決勝の時のモデルさんが全国大会に出られなくなり、モデル探しにとても苦労しました。挫けそうになり先輩に連絡すると、なにより楽しむことが大事だと励まされ、気持ちを保つことができました。大会当日は、朝練をする私のために、毎朝早く起きておにぎりを作って送り出してくれた母や、兄、妹も応援に来てくれて心強かったです。なんとか6位に入賞でき、先輩のリベンジを果たすこともできました。



6位入賞 岩瀬 沙耶さん
渋谷校美容科2年/神奈川県立横浜立野高等学校卒業
★モデル 福島 由海さん

昨年、先輩のモデルになったことがきっかけで今の私があります。全国大会出場を先輩にも報告し、モデルとの関係の大切さや衣装の助言もいただきました。この大会の楽しさも、当日までの練習時間も知っていたからこそ、提案や相談などしっかりコミュニケーションが取れるモデルをと考え、バイト先の友達にお願いしました。ブローとアイロンだけで彼女のクセ毛をまっすぐにする練習を重ねました。前髪は直線ではなく目尻に合わせてラウンドさせ、かわいらしい目元と馴染むようにしました。モデルさんはずっとロングヘアで、今回バツサリカットしたのですが、周りの評判も良いみたいでホッとしています。



6位入賞 船木 隼翔さん
国分寺校美容科2年/東京都立秋留台高等学校卒業
★モデル 刈谷 水優さん

モデル探しが一番大変でした。6月からずっとモデルハンをしていましたが見つからず、モデルが決まったのは本番の1週間前、ギリギリでした。モデルが決まらなかったで、夏休みはずっとウィッグで練習していました。友人や知り合いが刈上げの練習台になってくれて、とても助けられました。モデルの刈谷さんはとても協力的で、話していて楽しいし、助けられることも多かったです。本番も練習通りに落ち着いて技術ができ、良い作品に仕上げることができました。この経験を通し、結果よりもモデルさんや周りの仲間との関係性の構築や、技術を積み上げていく練習の過程が大切なのだと気づきました。



6位入賞 野口 七海さん
渋谷校美容科2年/埼玉県立上尾鷹の台高等学校卒業
★モデル 酒井 二葉さん
渋谷校美容科1年/東京都立第五商業高等学校卒業

サスーンコンテストではモデルがとても大切です。最初は真っ黒のヘアカラーでツヤを出すスタイルを考えていましたが、モデルさんは黒く染めることに抵抗がありました。一緒に練習するからにはモデルさんの好みに寄り添ったスタイルにしたい。「カッコイイほうが好き」と話してくれたので衣装を黒にし、カラーと長さは相談して決めました。耳から前の部分は長さがあると肌に沿わずにふわりと浮いてしまうので、卵形のシルエットにまとまるよう練習し、さらにチェックカットの時間を長めに取るなど工夫しました。この経験は今後のサロワークに活きるかと確信しています。



- 第26回大会 参加出場校 (開催: 2025/9/2 (火) 会場: 立川ステージガーデン)
群馬 群馬県美容専門学校
千葉 東洋理容美容専門学校
東京 国際文化理容美容専門学校渋谷校
国際文化理容美容専門学校国分寺校
京都 京都理容美容専門学校
兵庫 神戸B*理容美容専門学校
大分 明星国際ビューティカレッジ

- サスーン クリエイティブチームメンバー (敬称略)
マーク ヘイズ サスーン シニア インターナショナル クリエイティブ ディレクター (審査委員長)
石井 曜子 サスーン スクールシップ グローバルコーディネーター (審査副委員長)
アリス インゼス アシスタント クリエイティブ ディレクター
マッツ グラブ カラーリング インストラクター
*以上4名の先生方が来日され、競技審査をして下さいました。また当日は、先生方によるテクニカルヘアセミナーも行われました

